



大久保病院だより

脳卒中

脳神経外科 部長 及川明博

脳卒中は死因順位のおよそ10%を占めるばかりではなく、寝たきりや要介護の最も大きな原因となる病気です。多くの脳卒中は前ぶれなく突然襲いかかり、そのまま様子を見てみると症状が悪化してしまうことも少なくありません。そこで、一刻も早い（FAST）医療機関での受診が望まれます。

FASTは元々、救急隊員が脳卒中患者さんを素早く見つけ出すために作られました。

FASTのFはFace：顔の麻痺です。イーッとってもらい、片方の目元や口が下がっていないかを確認します。

FASTのAはArm：腕の麻痺です。両手を前方に挙げて、そのまま保ってもらいましょう。麻痺があると片方の腕の挙がり方が遅く、また姿勢を保つことができずに腕が下がってしまいます。

FASTのSはSpeech：ことばの障害です。

「今日は晴天なり」が「ほんいつはへいれんない」というようにろれつが回らなかったり、ことばが出てこなかったりします。

これらのFASTのひとつでも該当するときは**Time**：すぐに病院へ行く時です。救急車を呼んでも構いません。それほど緊急を要する事態なのです。

脳卒中患者さん専用のストローク・ケア・ユニットの設置や脳梗塞に対する血栓溶解療法（t-PA）などを中心に脳卒中の治療法は進化していますが、それを活かすのは、患者さん自身や周りの方が脳卒中に素早く気づき、迅速に行動することです。FASTで脳卒中に備えてゆきましょう。

もし、気になる症状がありましたら、お気軽にご相談ください。

何かへん……おかしいな……もしかして…… **脳卒中…!?**



（平成22年度循環器病研究開発費「新しい脳卒中医療の開拓と均てん化のためのシステム構築に関する研究」班より抜粋）

市民健康講座を開催いたします!!

12月20日(金)13時15分より当院隣のハイジア1階にて当院医師による市民講座を開催いたします。

テーマは「不整脈」です。

不整脈の中でも最近話題となっている心房細動について、発見から治療までの内容です。

市民講座の前にはアンフィニサロンオーケストラによるクリスマスコンサートも開催いたします。

お気軽に
ご参加ください!



栄養科紹介

安全で安心なおいしい食事を提供しています

当院では、食事が入院生活の楽しみのひとつとなるよう、またご自宅に戻ってからも食事療法を無理なく続けられるよう、手作りの料理を基本においしい食事の提供を心がけています。

- *ごはんや汁物などの温かい料理は温かく、サラダなどの冷たい料理は冷たくし、また患者さんの食べる機能に合わせ、お食事をきざむなど調製してお出ししています。
- *患者さんの病状に合った治療食を提供し、管理栄養士が食事説明も行っていきます。
- *季節の食材を使用した「季節食」、物日や歳時記にあわせた「行事食」などのお楽しみ食を年間30回以上提供しています。

「秋のごちそう御膳」



栗ごはん、さんまの塩焼き(すだち、おろし添え)、野菜含め煮、青菜胡麻和え、果物

緩和ケアチーム

今年、大久保病院に緩和ケアチームが発足しました。松本副院長がチームリーダーとなり、内科医師1名、外科医師1名、薬剤師2名、理学療法士2名、医療相談員1名、看護師3名の計11名で毎週水曜日に活動を行っています。がんによる強い痛みで日常生活を送ることが困難な場合や、今後そのような状況が予測される入院患者さんを対象に、チーム内でカンファレンスを行い、直接患者さんからお話を伺います。がんの痛みは取り除くことができる症状です。医療職者が、各々の専門分野から考え、チームとして活動することで「がんの痛みを和らげ、患者さん一人ひとりがそのひとらしい生活を送れる」ようにお手伝いしていきます。現在、ご自身やご家族で、このような状況でお悩みの方が入院していらっしゃいましたら、是非、主治医または病棟看護師までご相談ください。



放射線科からのお知らせ

大久保病院 放射線科は患者様に安心していただける、安全で質の高いCT検査を行っています。

当院では、2012年に先端技術を搭載した64列CT装置を導入しました。私たち放射線科は、この先端技術を使用することで、患者様の検査部位や体型に合わせてX線線量を最適化し、日頃から被ばく低減と画質の向上に努めています。



2013年8月、造影剤投与量を最低限に抑えた、大久保病院独自の撮影プロトコルによって撮像したCT画像が、イメージコンテスト(シーメンス社)のテクニカル部門で優秀賞を受賞しました。全国の同等のCT装置で撮影された画像の中から、低被ばく・低造影剤量を実現し、かつ診断に有用な撮像技術であると評価されたものです。

放射線科では、今後も画像診断において、高画質と低被ばくの両立を目指し、患者様に有益な検査を提供いたします。



公益財団法人 東京都保健医療公社

大久保病院

〒160-8488

東京都新宿区歌舞伎町2-44-1

TEL 03-5273-7711(代表)

URL <http://www.ohkubohospital.jp>

